

☆体験授業の概要☆

①英米文学 「英詩の世界にふれてみましょう」

【教授 中山 本文】

イメージをかきたてる精選された言葉、リズム、音の響きなどの作用によって、不思議な情感を呼び起す言語芸術。詩は文法を逸脱することが許されています。主語や動詞がなかったり、語順が普通と異なっていたり、三単元の“s”がないことは珍しくありません。文法にこだわって詩を味わうことはできません。大切なのは、イメージです。イメージの基本になるのが、人間の五感であり、感受性や理解力です。ものごとをイメージする力が豊かになれば、人間性そのものも豊かになります。

授業では、イギリスとアメリカの詩を紹介します。それぞれの詩の心象風景を楽しんでください。

②行政論 「身近な政策立案研究—保育所の仕組みと課題・改善策—」

【教授 有馬 晋作】

国や県・市町村は色々な行政サービスを住民に提供しています。現在は、厳しい財政状況の中、効率よく質の高いサービスをいかに住民に提供するかが、行政の課題となっています。

そのようなことを研究する学問に、行政学や政策研究があります。そこで、最も身近で不足していると言われる保育園を取り上げ、その仕組みや課題、改善策について考えていきます。

③ジャーナリズム論 「あと3年、地上放送のデジタル化近づく」

【教授 山本 明夫】

次期DVDの標準はBLU-RAYで決着しました。が、既存DVDの高規格化も急速に進んでいます。また、携帯でのワンセグ受信も身近なものになってきています。携帯でビデオを楽しむ、そんな時代の到来です。

その底流には、2011年7月の地上放送のデジタル全面移行があります。

ヨーロッパで急速に進む放送のデジタル化に遅れてはいけないとの国を挙げての取り組みが後押しをしています。また、液晶やプラズマなど薄型テレビの技術開発の成果を取り込んでのことであります。

では、2011年夏にはどんなことが起こりうるのでしょうか。少し早めですが予測してみたいと思います。

④情報・基礎科学 「コンピュータを使って動画パズルを作ろう」

【教授 田縁 正治】

宮崎公立大学の写真を加工して、庭の花の色を変えるなど、本当と違う写真をコンピュータで作成します。初めの写真と加工した写真の2枚の写真が手に入ったら、これらの写真を利用してパズルを作成します。まず、正しい写真が初めに見えてだんだん加工した写真に変わるような動画パズルを作成します。これを家族や友達に見せられるようにディスクにして持って帰ります。加工した写真が元の写真とかなり違っていてもどこが違うか、結構分からないものですよ。面白いパズルを作成して、びっくりさせましょう。

また、コンピュータのさまざまな使い方を、パズル作成を通じて学びましょう。

⑤歴史学 「絵図に見える江戸時代の宮崎」

【教授 大賀 郁夫】

江戸時代の日向国（宮崎県）は、北から延岡藩領・高鍋藩領・佐土原藩領・飢肥藩領および薩摩藩領に加え、幕領や人吉藩領地・旗本領などがあり、非常に錯綜した支配領域を形成していました。幕府は、慶長・正保・元禄・天保の四回、全国の国絵図を作成していますが、そのうち日向国絵図はほぼ完全な形で残されています。これらの国絵図をみながら、絵図に描かれた江戸時代の日向国を概観するとともに、現在県都が置かれている宮崎市域を描いた絵図と現在の地図とを比べながら、宮崎市域がどのように変化していったのかを考えます。

⑥出版文化論 「『サザエさん』に見る戦後の出版文化」

【講師 阪本 博志】

現在テレビで放映されているアニメ『サザエさん』は、もともとは1946年から1974年まで新聞に連載され、国民的に愛読された4コマ漫画です。『サザエさん』が連載されていたこの期間は、高度成長などをおして日本社会が大きく変動した時代です。掲載期間が長いゆえに、当時の人びとの模様が描きこまれた『サザエさん』の4コマ漫画からは、その当時の文化や社会の模様をうかがうことができます。

今回は、『サザエさん』のなかで、サザエさんたちがどのように雑誌に接しているのかに着眼することから、戦後の出版文化とりわけ雑誌文化について考えていきたいと思ひます。